



Citrix、仮想クライアントコンピューティングのリーダーに選ばれる

フロリダ州フォートローダーデール発 - 2020年3月10日 [##Citrix#](#)はIDC MarketScape: Worldwide Virtual Client Computing 2019-2020 Vendor Assessment (書類番号US45752419、2020年1月)にて、仮想クライアントコンピューティング(以下、VCC)部門の「リーダー」ポジションに選ばれました。

この調査はVCCソリューションが対象とする市場の検証を目的として行われ、戦略と製品/サービス提供能力の2つを主要基準として10社のベンダーが評価されました。Citrixは以下の評価に基づき「リーダー」に選ばれました。

- 今後5年間に予想される市場トレンドと戦略との整合性、および予想外の変化への対応能力
 - コアとなる機能の完全さと競争力、およびさらに拡大された機能の競争力
- 業務のための統合プラットフォーム

Citrixについては [Citrix# Virtual Apps and Desktops](#) をそのネットワーク、エンドポイントマネジメント、およびセキュリティ関連の製品とサービスを連携して使用することにより、ユーザー中心の一体化されたデジタルワークプレイスを作りだしていることが特に評価されました。IDCのアナリストであるシャノン・カルヴァー(Shannon Kalvar)氏は、「この統一されたプラットフォームでは迅速なイノベーションが可能です」と述べています。

柔軟性と選択の自由さを目的として構築された近代的ソリューション

本レポートはまた、従来のオンプレミスのソリューションとホステッドソリューション、およびパブリッククラウドベンダーとの一体化を含め、Citrixによるハイブリッドクラウドの実現と仮想アプリケーションおよびデスクトップ管理への投資についても指摘しています。カルヴァー氏は「CitrixのHDXストリーミングプロトコルでの最近のイノベーションと共に、Citrixのプラットフォームは幅広い展開シナリオと様々な場所での業務遂行に対応しています」と述べています。CitrixのProduct Marketing担当シニアディレクターであるヴィシャル・ガネリワラ(Vishal Ganeriwala)は次のように述べています。「IDCからVCCソリューションのリーダーに選ばれたことを喜ばしく思います。仕事の未来は柔軟性と選択の自由さに掛かっており、Citrixは規模の大小を問わずあらゆる企業の従業員が必要とする、最高の成果を挙げるため好んで使用するアプリケーションを迅速かつ容易に提供できる、統合されたデジタルプラットフォームへの取り組みを続けています。」

真のデジタルワークプレイス

[Citrix Workspace#](#)と共に使用するCitrix Virtual Apps and Desktopsは、従来のデスクトップ仮想化の範囲には留まらず、企業が従業員の必要とするシステム、情報、およびツールへのパーソナライズされたアクセスをひとつの統一されたエクスペリエンスとして提供し、いつでも、どこでも、またどのようでも、アプリケーション、情報、および機器の安全が確保されているという安心感の下に仕事を進められるよう、ユーザーの行動と環境に基づきセキュリティポリシーを動的に適用することを可能にします。

Citrixのソリューションとそれが企業にもたらす価値の詳細については[こちら](#)をご覧ください。このIDCレポートは[こちら](#)から無償でダウンロードしていただけます。

IDC MarketScapeについて

IDC MarketScape は、特定市場におけるICTサプライヤーの競争力の適応度を把握できるベンダー分析モデルです。調査方法として、定量的および定性的な評価基準に基づいた厳密な採点手法を用いています。調査結果は当該市場における各ベンダーの位置付けを示す、1つのグラフィックスによって図示されます。IDC MarketScape は、ICTベンダーの製品とサービス、ケイパビリティ（製品／サービス提供能力）、戦略、さらには現在および将来の市場における成功要因を比較可能とした明確なフレームワークを提供します。ITバイヤーはこのフレームワークを利用することによって、ICTベンダーの強みと弱みを包括的に把握することができます。